

【サポウイルスとノロウイルスの違いについて】

サポウイルスもノロウイルスも感染性胃腸炎の原因となるウイルスです。

サポウイルスは、ノロウイルスと同様に乳児から成人まで幅広く感染するが、ノロウイルスより比較的軽症で治療を必要とせずに軽快することも多い（まれに重症化する例もあり、老人や免疫力の低下した乳児では死亡事例も報告されている。奈良県内では死亡事例はない。）

特徴などの詳細は以下のとおり。

		サポウイルス	ノロウイルス
特徴	科名	カリシウイルス科	カリシウイルス科
	大きさ	直径約38nm	直径約38nm
	形状	球形	球形
	感染経路	経口感染	経口感染
	潜伏期間	12～48時間	12～48時間
	主症状	下痢嘔吐発熱	下痢嘔吐発熱
	有症状期間	概ね1～2日	概ね3日以内
	症状消失後	1～2週間ほどウイルスが便中に排出されるため、二次感染に注意が必要	1～2週間ほどウイルスが便中に排出されるため、二次感染に注意が必要
	発生割合	1	10
今季の集団発生状況			
	県内	初	3件
	流行状況	特段の流行はない	全国で流行中
昨季の集団発生状況			
	県内	1件	24件